

令和3年度  
第2回 台東区区政サポーター  
アンケート調査 報告書

「プラスチックごみの削減について」

「観光振興について」

「子育てについて」

台東区 総務部 広報課

# 令和3年度 第2回 台東区区政サポーターアンケート

## 区政サポーターとは

資 格：公募による区内在住の中学生以上の方

活動内容：区政に関するアンケートを郵便または電子メールで回答する。

任 期：2年（令和3年4月1日～令和5年3月31日）

## 目 的

区政サポーターの方に区の課題となっている「施策や事業に関するアンケート」に回答していただくことによって、区政への参加を図ります。また、アンケート結果は区民の貴重なご意見として、今後の区政運営の資料といたします。

## 内 容

- (1) プラスチックごみの削減について
- (2) 観光振興について
- (3) 子育てについて

## 調査概要

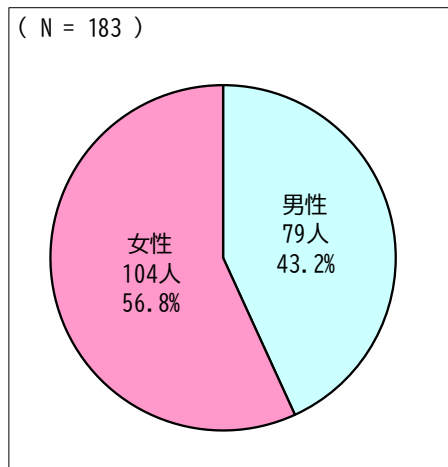
調査期間 令和3年7月6日（火）～7月19日（月）

対 象 区政サポーター200名（郵便によるサポーター60名、Eメールサポーター140名）

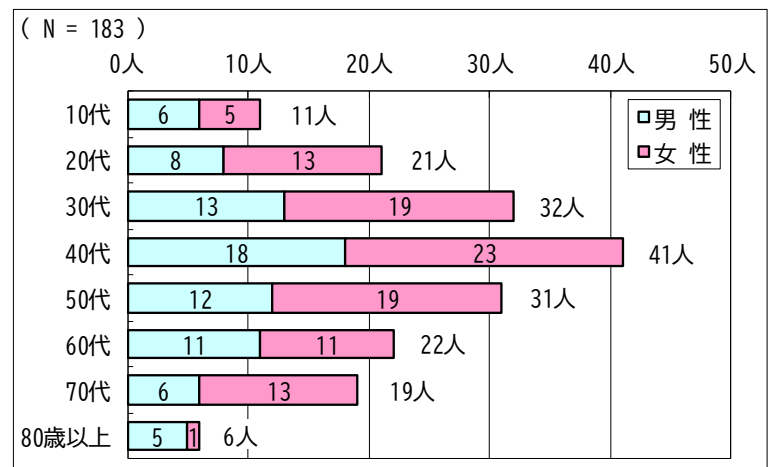
有効回収数 183名（郵便59名、Eメール124名） 有効回収率91.5%

## 回答者の属性

### 性別



### 年代別



### 地区別（区民事務所・分室・地区センター）

地 区	竹町	東上野	上野	入谷	金杉	谷中
男 性	2人	3人	3人	12人	14人	5人
女 性	5人	6人	10人	12人	10人	6人
計	7人	9人	13人	24人	24人	11人
地 区	浅草橋	浅草寿	雷門	馬道	清川	合計
男 性	8人	9人	9人	9人	5人	79人
女 性	8人	9人	11人	16人	11人	104人
計	16人	18人	20人	25人	16人	183人

### 職業別

職 業	自営業・ 個人事業主等	会社員・ 公務員等	主婦(夫)	学生	無職	その他	合計
人 数	18人	82人	31人	19人	19人	14人	183人

# 目 次

## I 調査結果の分析

「プラスチックごみの削減について」・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

「観光振興について」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

「子育てについて」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16

## II アンケート質問と回答・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

### 報告書の表記について

- (1) 回答の構成比率(%)はすべて百分比で表し、小数点第2位を四捨五入しています。そのため、百分比の合計が100%に満たない、または上回ることがあります。
- (2) 基数となるべき実数は、Nで表しています。  
Nは、回答者総数または該当設問の該当者数です。
- (3) 複数回答の設問は、各選択肢を1つだけでなく、2つ以上選択するため、各選択肢の合計数字が100%を超える場合があります。
- (4) 自由意見は、文字制限がある為、要約して掲載する場合があります。

※この報告書は、区のホームページ <https://www.city.taito.lg.jp/>に掲載しています。  
(トップページ>区民の声>台東区区政サポーター)

# I 調査結果の分析

## 【プラスチックごみの削減について】

今回の調査では、マイバッグを毎回使っている方は7割を超え、レジ袋の有料化をきっかけに多くの方がプラスチックごみに関する意識や行動に変化があったことが分かりました。

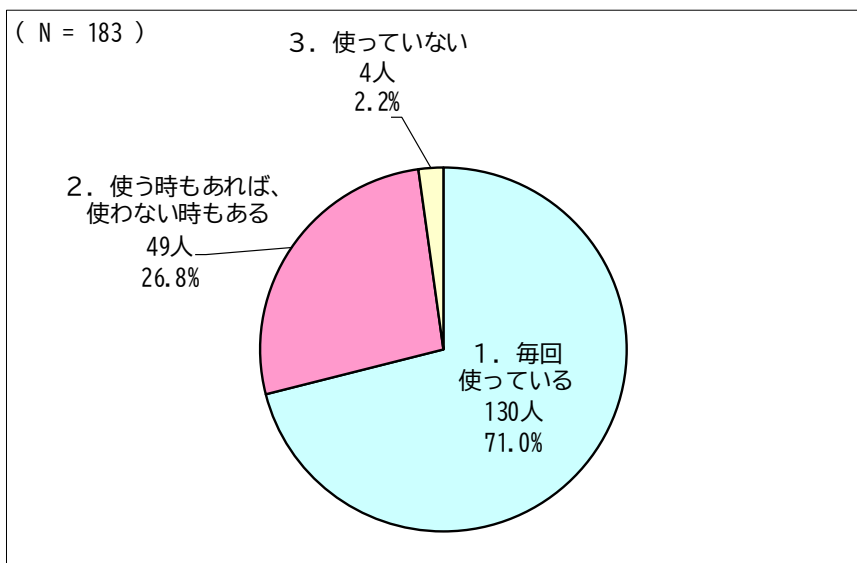
また、プラスチックごみの分別収集、資源化については、9割近くの方が「賛成」「どちらかといえば賛成」と回答されました。一方、反対の理由として「分別の種類が増えて面倒だから」と回答する方が多く、分別収集を始める際には「分別方法をわかりやすく周知する」「分別の手間がなるべくかからないような方法にする」といった対応が必要だということが分かりました。

今回の結果を踏まえて、使い捨てプラスチック等の削減を進めるとともに、更なるプラスチックの資源化を検討してまいります。

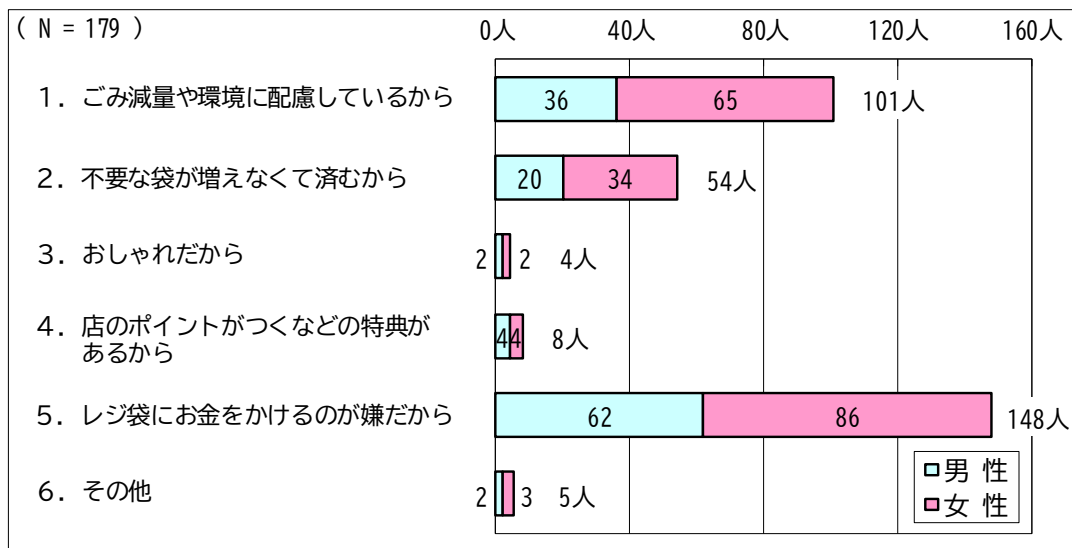
(環境清掃部 清掃リサイクル課)

**設問1**：令和2年7月から、プラスチック製買い物袋（以下「レジ袋」）が有料化されました。レジ袋の有料化は、使い捨てプラスチックの使用を減らし、マイバッグを持参する等の環境に優しい行動や心がけを促すことを目的としており、プラスチックの製造・廃棄にかかるCO<sub>2</sub>の削減や海洋プラスチックごみの減量などにもつながります。

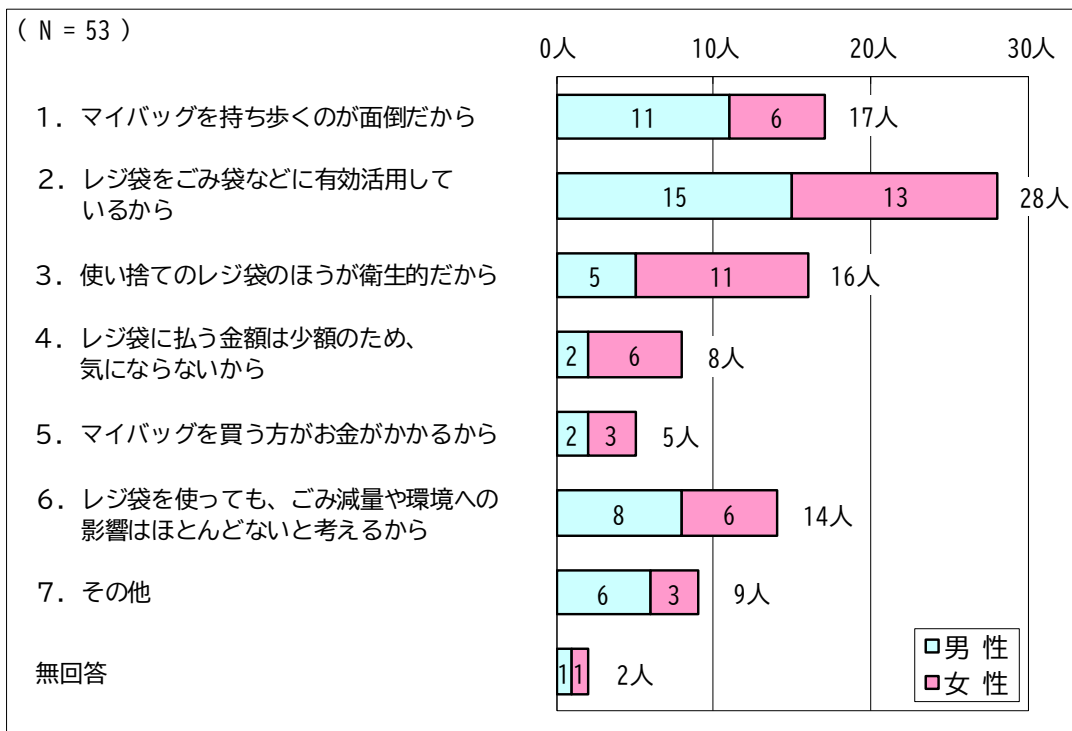
あなたは買い物時にマイバッグを使っていますか。



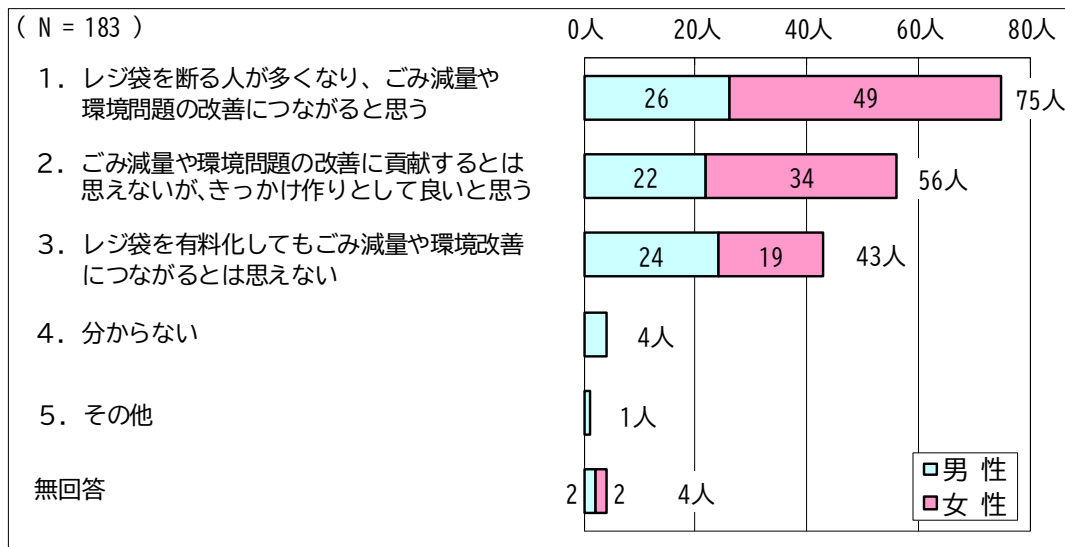
**設問2**：設問1で選択肢1、2を選択した方にお伺いします。  
マイバッグを使う理由は何ですか。(複数回答可)



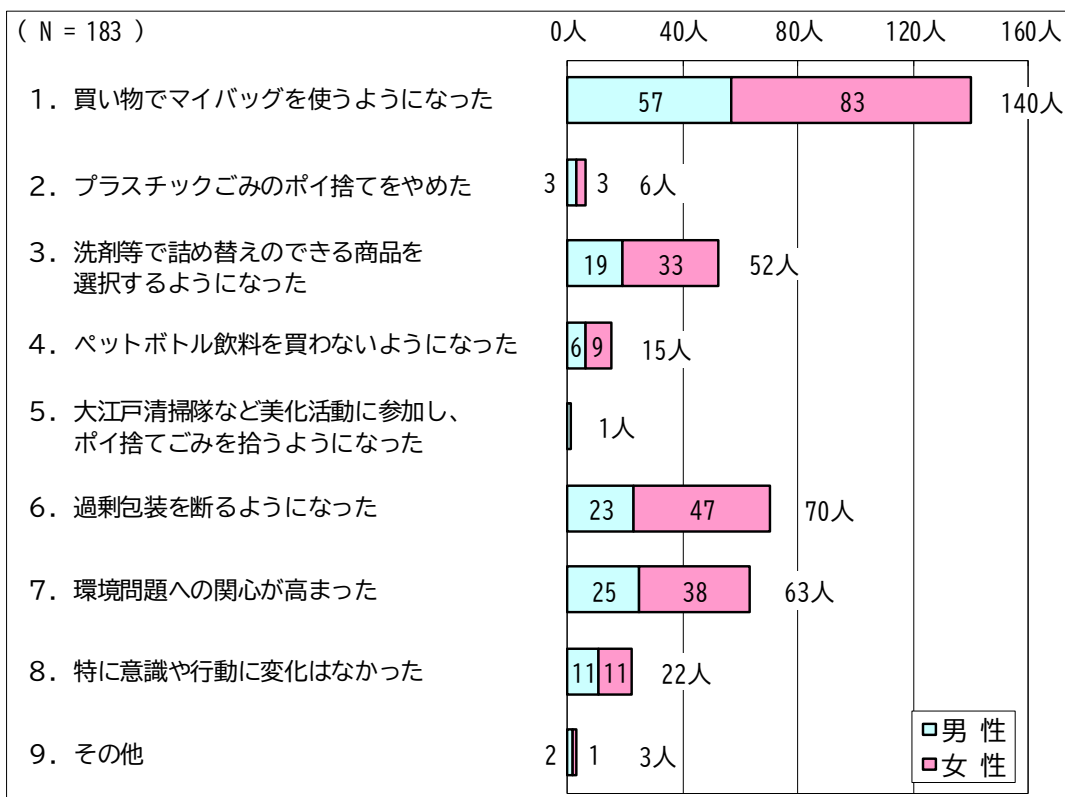
**設問3**：設問1で選択肢2、3を選択した方にお伺いします。  
マイバッグを使わない理由は何ですか。(複数回答可)



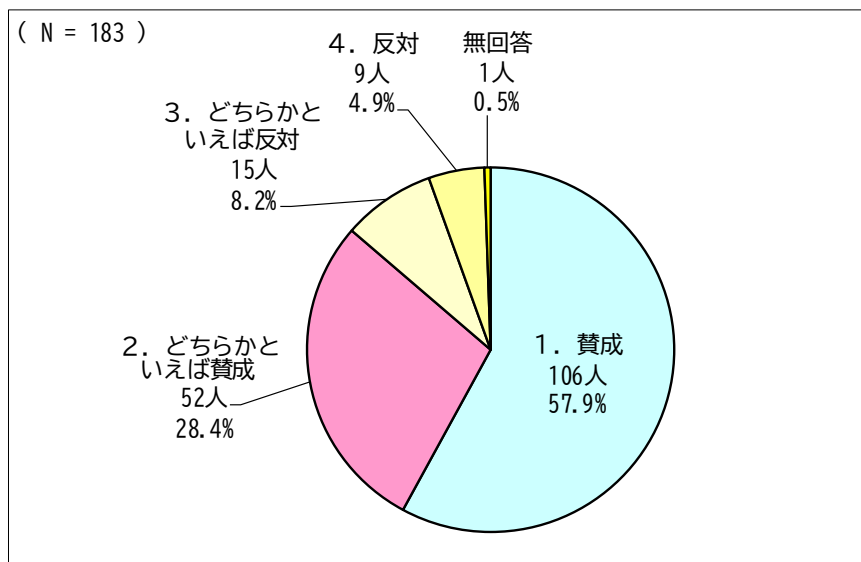
設問4：レジ袋有料化は、プラスチックの削減にどのような効果があると思いますか。



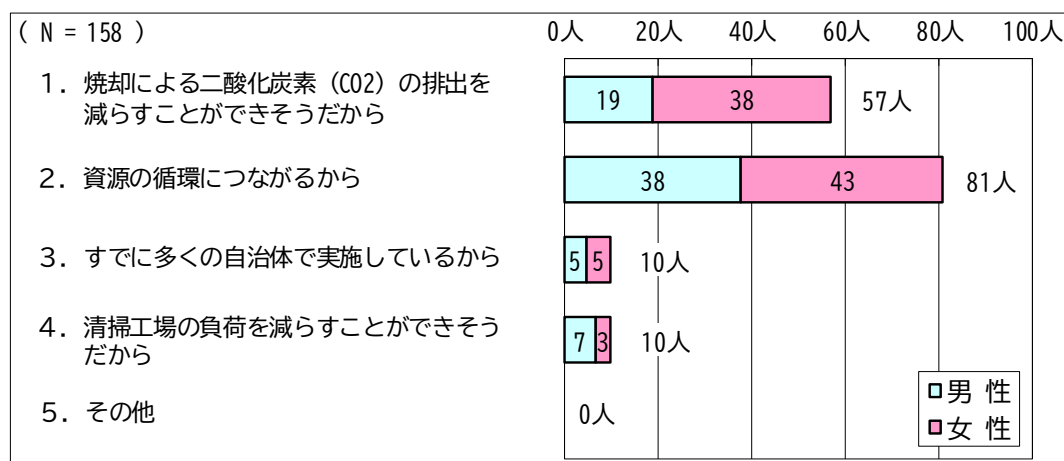
設問5：レジ袋の有料化をきっかけに、プラスチックごみに関する意識や行動に変化はありましたか。(複数回答可)



**設問6**：不要になったプラスチックはごみとしてではなく、リサイクルを進めて行く必要があります。区では現在、ペットボトルや食品発泡トレイ・カップの集積所回収など、一部のプラスチック類については分別し資源化を行っています。今後は更にプラスチックの資源化を目指すため、お菓子の空き袋やシャンプーのボトル、プラスチック製の文房具・玩具類など、ほぼすべてのプラスチックごみの分別収集、資源化の実施を検討しています。あなたはプラスチックごみを分別収集、資源化することについてどう思いますか。

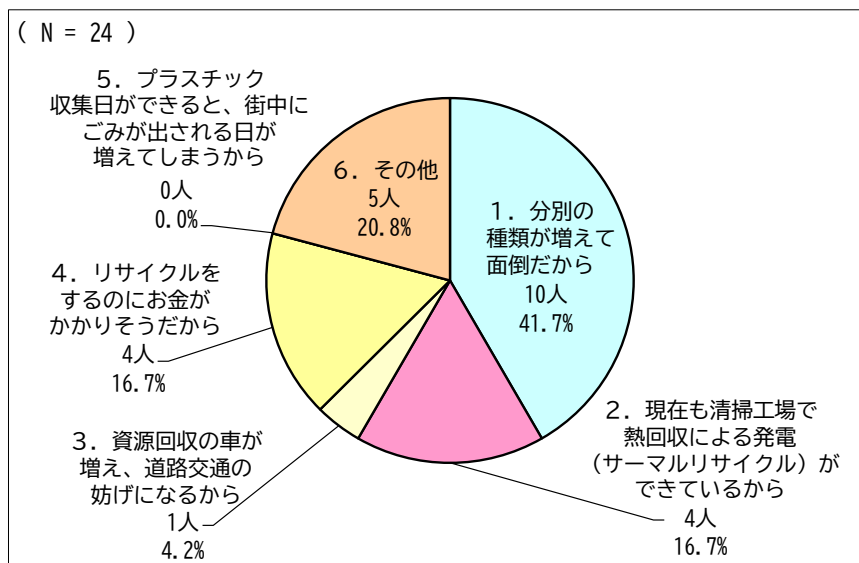


**設問7**：設問6で選択肢1、2を選択された方にお伺いします。プラスチックごみの分別収集、資源化に賛成の理由は何ですか。

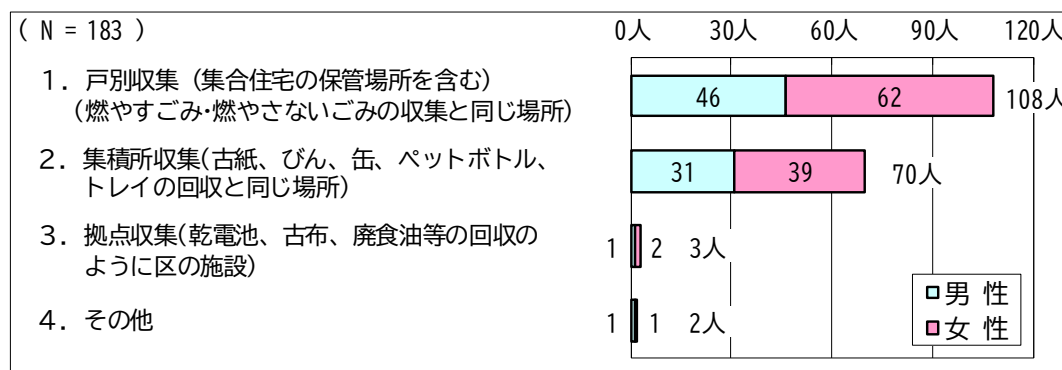


設問8：設問6で選択肢3、4を選択された方にお伺いします。

プラスチックごみの分別収集、資源化に反対の理由は何ですか。

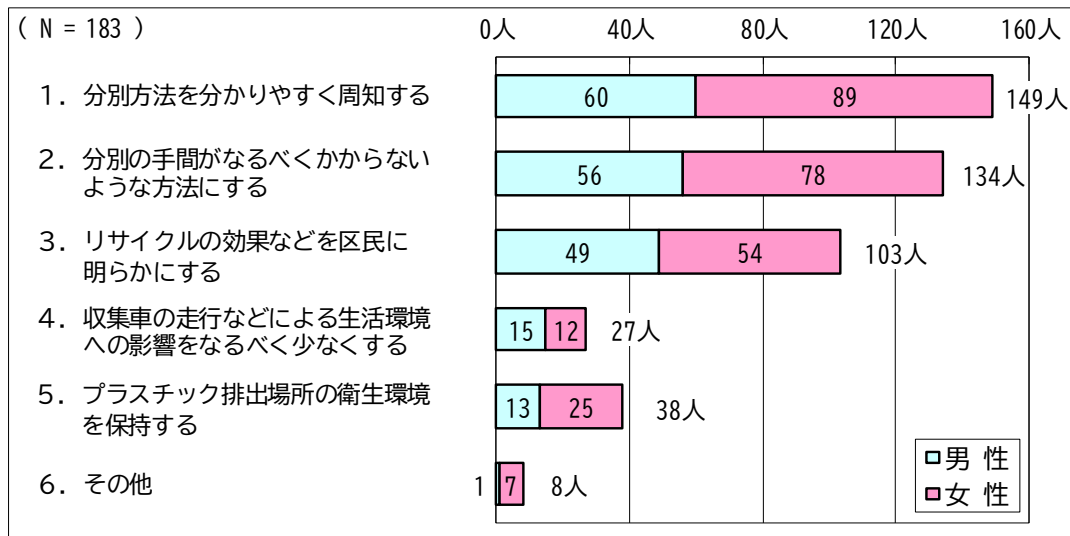


設問9：プラスチックごみを分別した場合、3人から4人のご家庭で1週間に30ℓから45ℓのごみ袋1袋程度の量になる見込みですが、どのような収集方法が良いと思いますか。

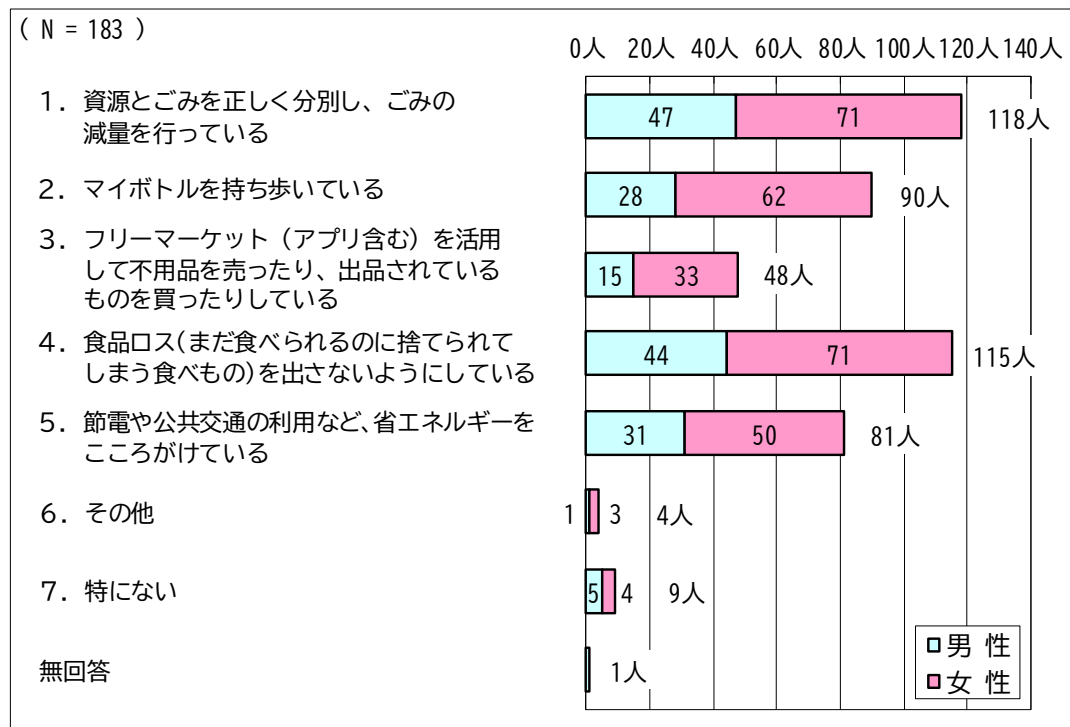




設問10：プラスチックごみの分別収集を始める際には、区でどのような対応が必要だと思いますか。（複数回答可）



設問11：マイバッグ持参のほかに、ごみ減量や環境に配慮した取り組みで行っていることは何ですか。（複数回答可）



設問12：プラスチックごみの発生抑制や資源化について、ご意見等がありましたらご記入ください。

(主なご意見)

- ・消費者としてプラスチックが分別ごみになれば、購入時の意識向上に繋がるし、プラスチック製品の発生を抑制する体制を企業等に求める力も増大すると思われる。
- ・数年前に台東区に転入して来た時は、プラスチックごみを燃やすごみとして捨てることに驚いたし、罪悪感もあった。燃やすごみと同じくらいの頻度で同じように収集してもらえれば、プラスチックごみの分別は難しいことではないと思う。
- ・世界的に脱炭素化を目指す流れが一段と大きくなっているので、自治体でもできることからすぐに始めるべきだと考える。
- ・分別や資源化の効果が見込めるのか不明瞭だ。分別を制度化するのであれば、具体的な「費用対効果」「CO<sub>2</sub>削減などの環境に対する効果」を説明し、向こう3年や5年単位での「目標値」を設定すべきと考える。
- ・消費者が過剰な包装や使い捨てプラスチック製品を安易に消費しないのは勿論だが、生産者側にも今後は強い規制が必要になってくるのは明らかだと思う。不必要なものを流通させない努力もしなければならない。
- ・個人個人ができる環境貢献を進めるべきで、そのような意識をどのように一人ひとりが身につけるかが重要だと思う。誰かがやってくれるという他責の考えではない行動意識が重要になるため、その浸透が鍵と考える。
- ・プラスチックごみの削減を始め、台東区のSDGs対策は重要であると思うが、分別方法が煩雑になる等、生活が不便になるのは困っている。
- ・分別方法を分かりやすくするのが一番重要だと思う。汚れているプラスチック製品の洗浄の方法等を詳しく説明することも大事だと思う。
- ・プラスチックのリサイクルだが、台東区は対応が遅いと思った。日本はプラスチックを燃やしすぎだ。早く実施してほしい。
- ・収集したものが上手く活用出来ていないという報道を見たことがある。集めるだけで環境資源に配慮しているというのは意味がない。活用方法がしっかり周知されれば、分別に意欲がわくと思う。

- ・マイバッグよりもレジ袋のほうが衛生的だと思う。レジ袋有料化よりもポイ捨てなどへの罰金のほうが良いと思う。
- ・肉を袋に入れて販売していることがあるが、このようにトレイそのものをやめることを推進するのが良いと思う。
- ・マイバッグを持ち歩いたり、身近なことはしているが、それ以外にもどうすれば良いかを具体的に教えてほしい。
- ・リサイクルをすることは良いことだが、ごみ袋として活用していたレジ袋がなくなり、ごみ袋を別途購入して利用していると意味がないと考えている。
- ・コロナ禍でテイクアウト需要が増えているが、プラスチック容器のごみが多く出る。自宅から持参した容器に入れてくれる飲食店もあり、今後そういった対応ができるお店が増えると良いと思う。
- ・プラスチックごみがリサイクルされる過程で発生するエネルギー（CO<sub>2</sub>や燃料など）が焼却で使用されるエネルギーより大きくなってしまわなければ良いと思う。
- ・プラスチックごみの発生抑制も大事だが、利便性も大事だと思う。何事もバランスが大事だと思う。最近はプラスチックごみの発生抑制などの活動の波が大きく、少し窮屈な感じがする。
- ・プラスチックごみを分別収集する時に、プラスチックを水道水できれいにすすいでから排出しているが、そうすると水資源や水道料金との兼ね合いもあり、環境に配慮しているのか考えてしまうこともある。
- ・将来のためにはプラスチックごみの資源化は必要だと思う。分別方法を分かりやすく示してもらえれば、しっかり分けて出したいと思う。
- ・日頃からごみの分別には気をつけているが、ルールを守らない人が多い事につかりする。外国人も多数いるので、そのような人にもわかりやすく周知する事が大切だと思う。

## 【観光振興について】

新型コロナウイルス感染症の影響により、観光客は激減しています。引き続き、感染症予防対策を行い、施設や店舗の安全性を高めつつ、状況の変化に対応した観光施策を推進していくことが重要です。

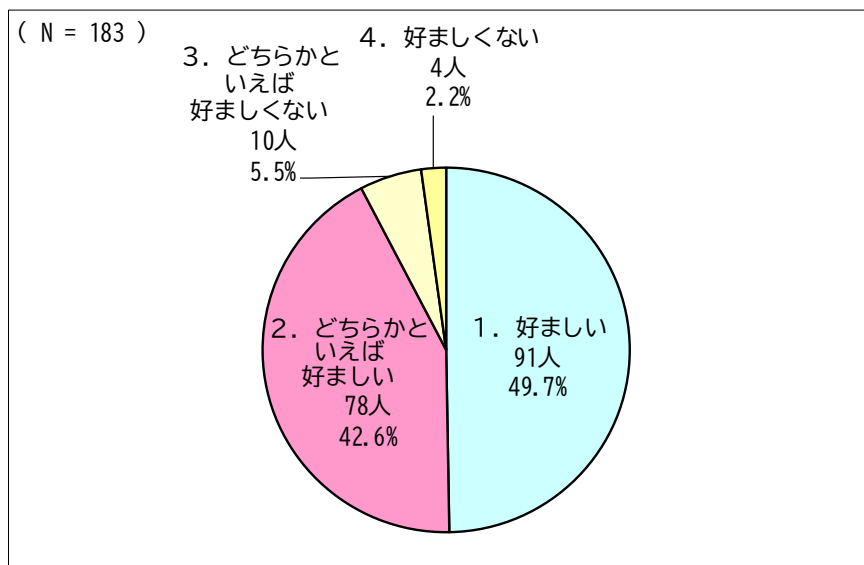
今回の調査によると、台東区に多くの観光客が訪れることについて好ましく思う方は全体の9割を超え、観光客が訪れることによるプラスの効果は、「飲食業や宿泊業、地場産業等が潤い、経済効果がある」などの回答がありました。

一方で、観光客が訪れることによるマイナスの影響として、「ごみが増える」、「新型コロナウイルス感染症等の感染症拡大の要因になる」と回答した方が多くみられました。

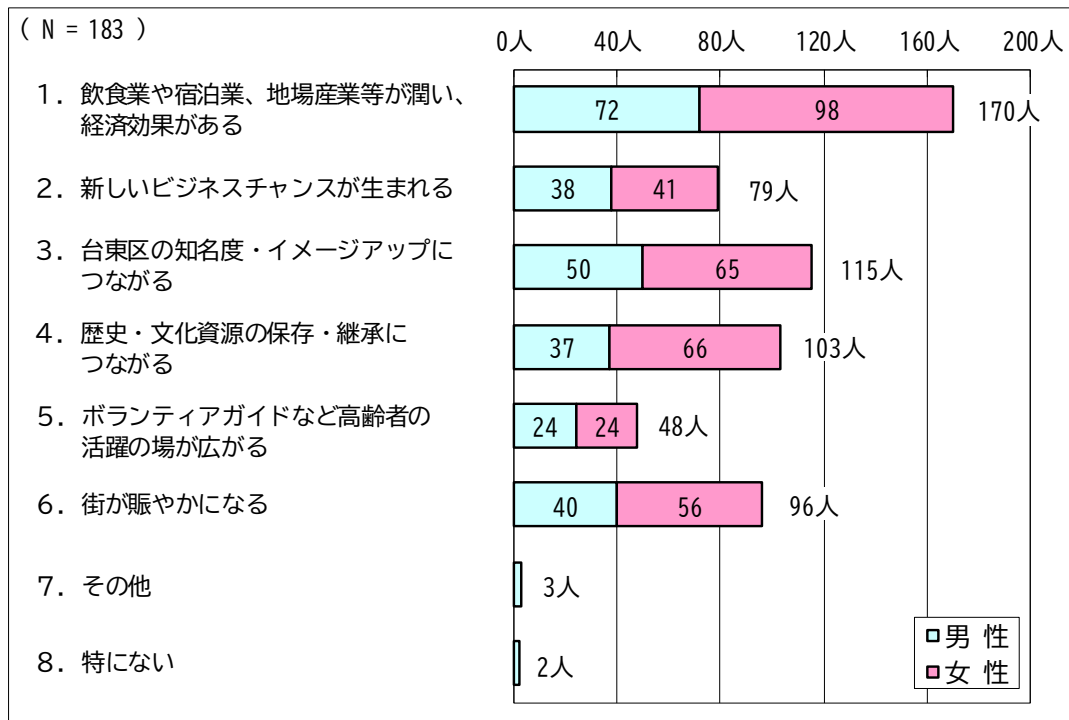
今回の調査結果を参考に、区民の皆様の安全安心につながるよう、今後も様々な課題に対する総合的な観光施策を展開してまいります。

(文化産業観光部 観光課)

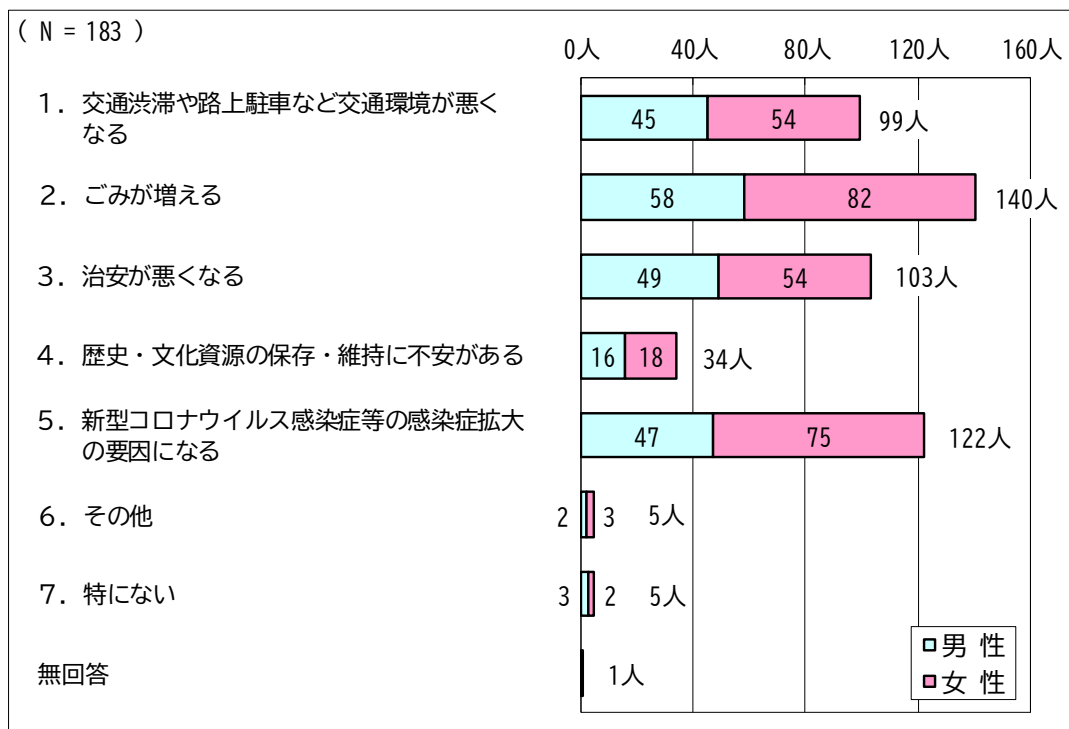
設問13：台東区に多くの観光客が訪れることについて、どのように思いますか。



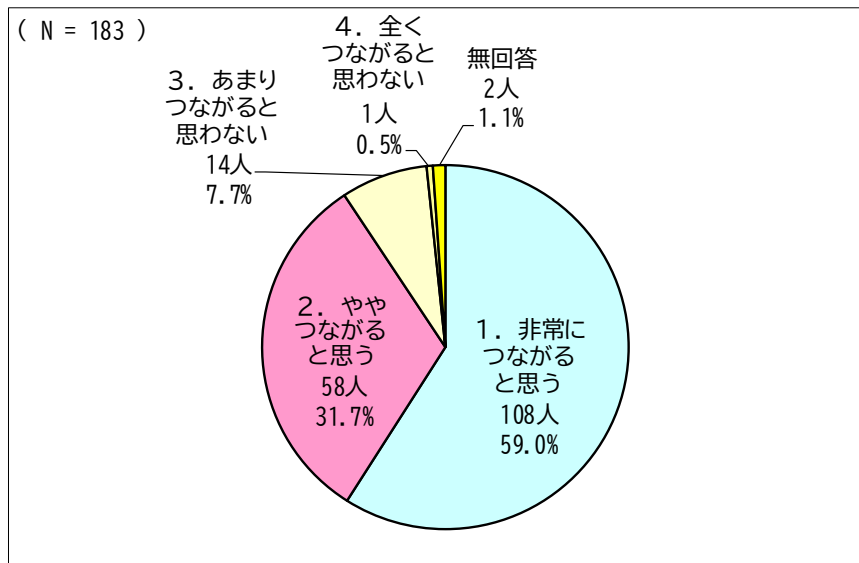
設問14：観光客が訪れることによるプラスの効果は、どのようなことが考えられますか。  
(複数回答可)



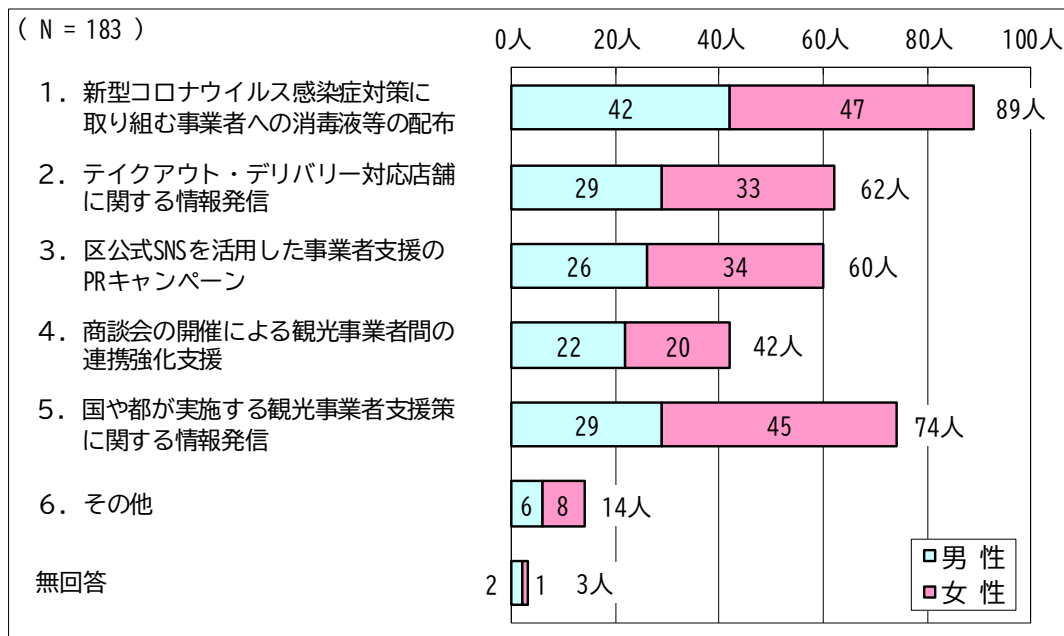
設問15：観光客が訪れることによるマイナスの影響は、どのようなことが考えられますか。  
(複数回答可)



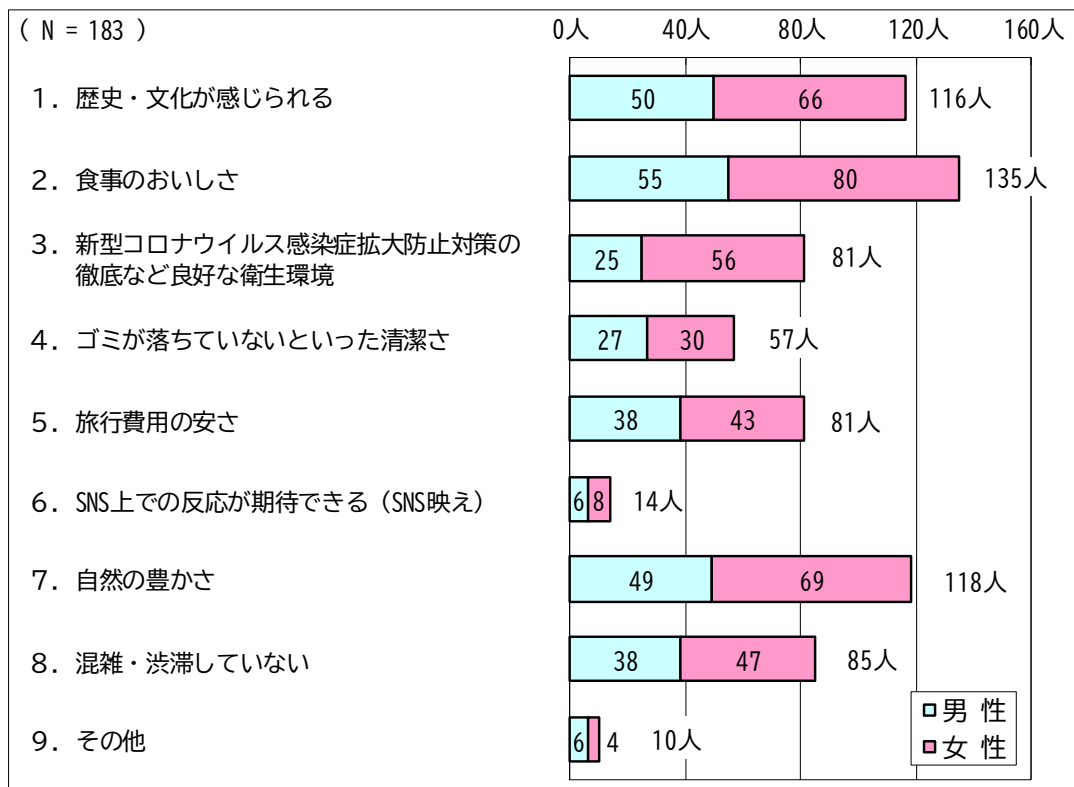
**設問16：**施設・道路等のバリアフリー化の推進や公衆トイレの整備、利便性の高い交通網などの観光基盤を整備することが、区民生活の向上につながるといいますか。



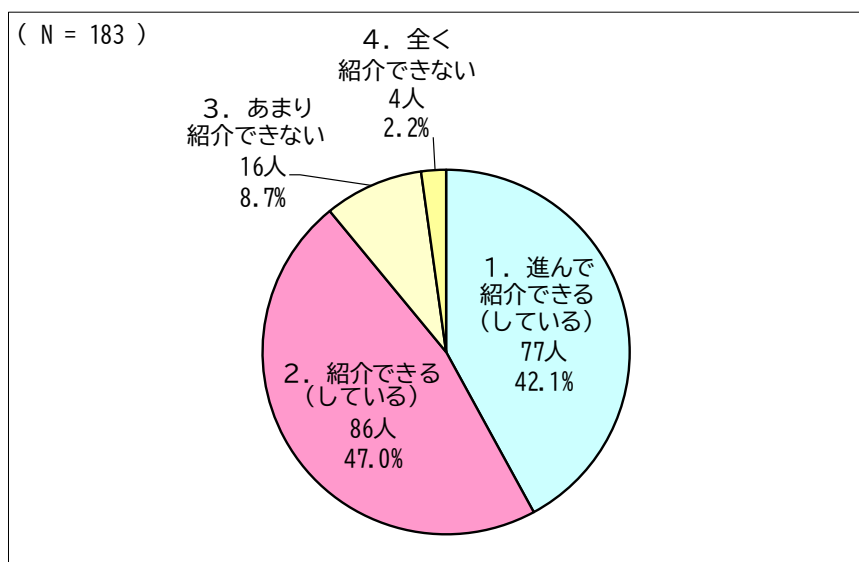
**設問17：**新型コロナウイルス感染症に関連する観光施策として、あなたが区に求めることは何ですか。(複数回答可)



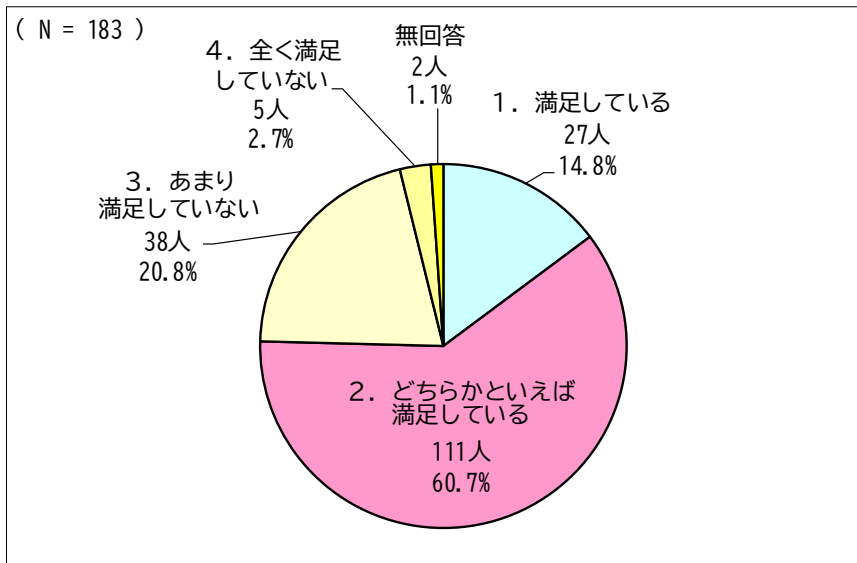
設問18：あなたが旅行先を選ぶ際、重視していることは何ですか。（複数回答可）



設問19：あなたは、台東区を魅力ある観光地としてほかの人に紹介できますか。



設問20：区の観光振興への取組みについて満足していますか。





**設問21：観光振興についてご意見等がありましたらご記入ください。**

(主なご意見)

- ・観光資源と住居が混在しているエリアは土日祝の人出でうるさい時間帯が長く続くのが気の毒だと思う。この場所ではお静かに等の行政による掲示を柔らかい表現でうまくできれば、観光客も気持ちよく応じてくれるのではないか。
- ・新型コロナが収束するまでにはもう少しワクチンが普及しないと厳しいと考えられる。それまで観光関係の事業者の財政支援を延命措置として継続してほしい。
- ・コロナ禍でインバウンド需要が落ち込み、厳しい経営を強いられている事業主さんへの支援をし、インバウンドだけでなく、国内の多くの人々がまた訪れたいと思える魅力的な街づくりに取り組むことが観光振興に繋がると思います。
- ・浅草寺や上野の山周辺以外にも歴史があり、食・モノづくりに秀でた街はあります。観光振興として、そのような街への支援やPRをもっと行って欲しい。
- ・区の観光課が運用していたインスタグラムは、海外からの観光客が見込めない今、国内観光客向けにしっかり活用すべきだと思う。区だからこそ発信できる情報や、区内飲食店などとの連携も是非実施してほしい。
- ・トイレなどの公共施設が綺麗だと、もっと良くなると思います。
- ・コロナ禍で、残念ながら事業継続を諦めた方も多いと思います。観光で賑わいが戻ってきた際には、観光客に満足していただけるよう台東区民全体がおもてなしをし、事業がまた潤う事を願います。
- ・観光客が増えるのは望ましいのですが、ごみ対策、治安の維持、衛生環境や景観の維持をお願いしたいです。
- ・台東区はお寺が多い街です。お坊さんの法話を聞いてみたいので、スケジュールが一覧であると便利だと思います。お寺の歴史や特徴、東京藝術大学はどこまで見学ができるのか等、いろいろな情報を広報で連載していただけないでしょうか。
- ・区民にとっては観光地でありながらも生活の地なので、新型コロナ対策に対しては大きな関心事です。地元の商店は必ず守ってあげて欲しいです。
- ・台東区は外国人の観光に力を入れていますが、日本の良さを日本人にまずもっと知ってもらうべきだと思います。国内旅行で、古き良き街並み、文化を体感してもらう事を優先に考えて欲しいと思います。

- ・観光客を「迎える人」への取り組みも強化していただいたほうがいいと思います。
- ・地元の飲食店や観光事業者の経営が破綻しないように守ってほしい。どこにでもあるものに埋め尽くされたら浅草の良さは損なわれると思う。浅草には、他の町では体験できないような古き良き下町という位置付けを期待している。
- ・新型コロナで自粛が続く現在のほうが治安悪化や過剰な混雑がなく、住みやすいです。むやみに観光客を増やすのではなく、人数を抑制しつつ、客単価を高くする施策を検討して頂きたいです。
- ・観光事業の拡大には賛成ですが、まず新型コロナを含む地域住民の不安を取り除くことが優先だと思う。マスクを外し、安心して外国の方と接することができるまで待つべきだと思う。
- ・世界に誇る浅草という観光資源を演芸場などの芸能と併せて大事にし、区の活性化に活かして欲しい。
- ・台東区は浅草、上野、蔵前など、素晴らしい魅力ある区だと思うが、下町といったこともあり、清潔感等の印象がなかなかよくなるように感じる。まずは道のゴミなどをなくして常に綺麗にするなど、小さなことから始めていいのでは。
- ・大都市は世界各国同じようなお店があり、何だかどこも同じと感じてしまうが、台東区は台東区らしく文化のある町が多いので、その良さを生かしてほしい。
- ・新型コロナウイルス対策が大事だと思う。住民や観光客に悪い印象を与えてしまうと台東区のイメージダウンにつながってしまうので。
- ・私は荒川区からこちらの台東区に嫁いできました。台東区はとてもステキな所だと思います。美術館もイベントも多くあり、とても楽しいです。今は新型コロナウイルスの影響で何もできないのが残念です。
- ・現在は観光バス等が少なく、交通状態は問題ないけれど、新型コロナ終息後に観光地周辺の渋滞がまた増えたら嫌だ。
- ・少し時間がかかるとは思いますが、自由に観光できるようになれば、以前よりも台東区ならではのおもてなしができるようになると良いと思います。

## 【子育てについて】

今回の調査では子供に体罰を与えることについて、「場合によっては必要だと思う」と回答した方が3割以上という結果になりました。子供に体罰を与えることは、いかなる場合であっても法律で禁止されています。そのため、引き続き体罰によらない子育ての推進に取り組んでまいります。

体罰によらない子育ての周知方法については、「保健所や保育園・学校などから配布されるチラシ」と回答した方が最も多かったことから教育委員会等と連携した周知が必要であることが分かりました。

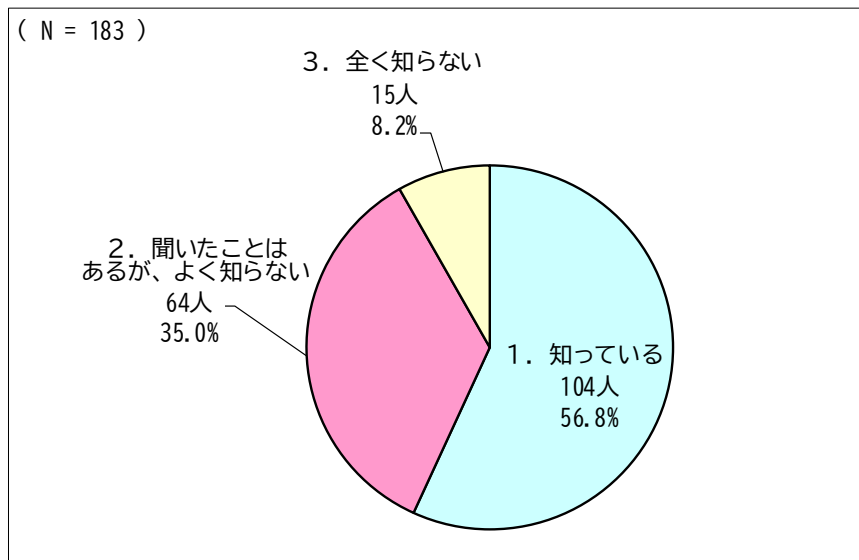
また、0歳から18歳未満の児童の相談ができる「子育て総合相談」が子ども家庭支援センターにあることを6割以上の方が知りませんでした。

今後は、子育て総合相談の周知も積極的に行い、区民の子育て支援の向上に努めてまいります。

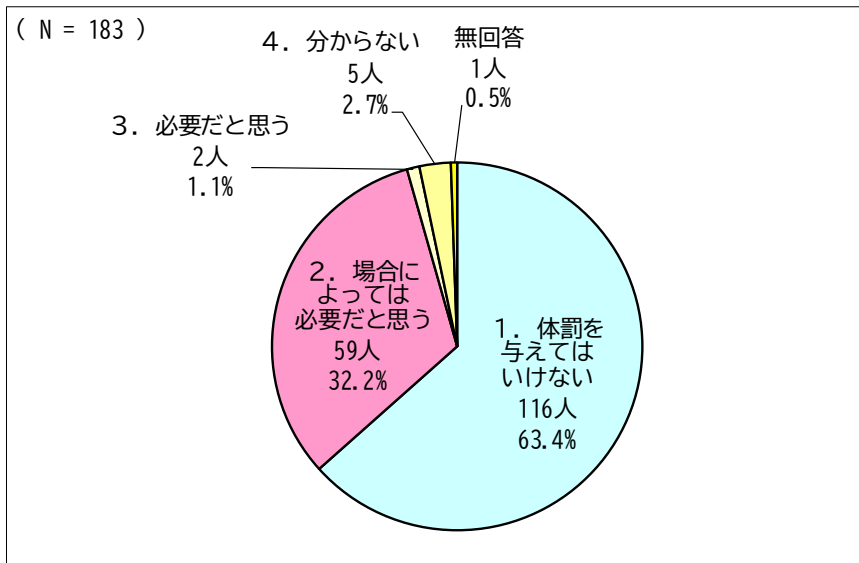
(区民部 子ども家庭支援センター)

**設問22：**子供への体罰を禁止した改正児童福祉法及び児童虐待防止に関する法律が令和2年4月に施行されました。

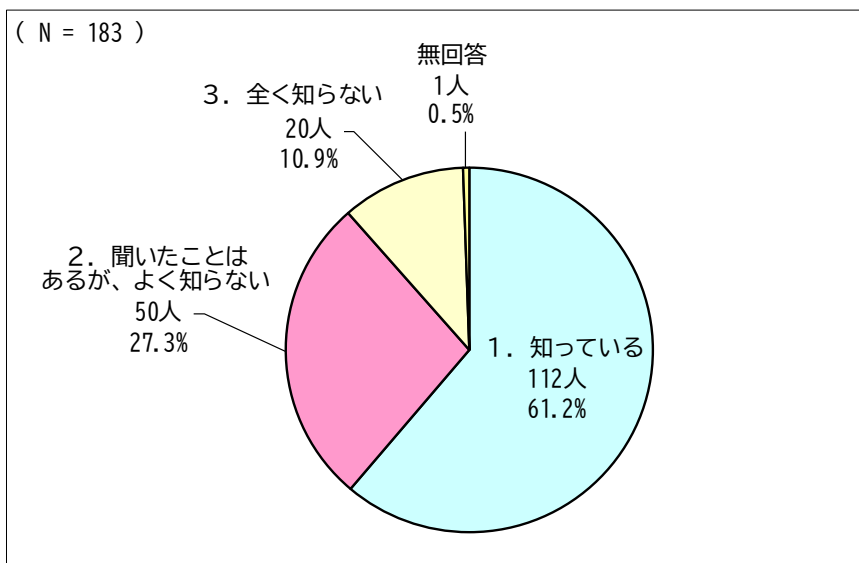
子育てにおける体罰が法律的に禁止されていることを知っていますか。



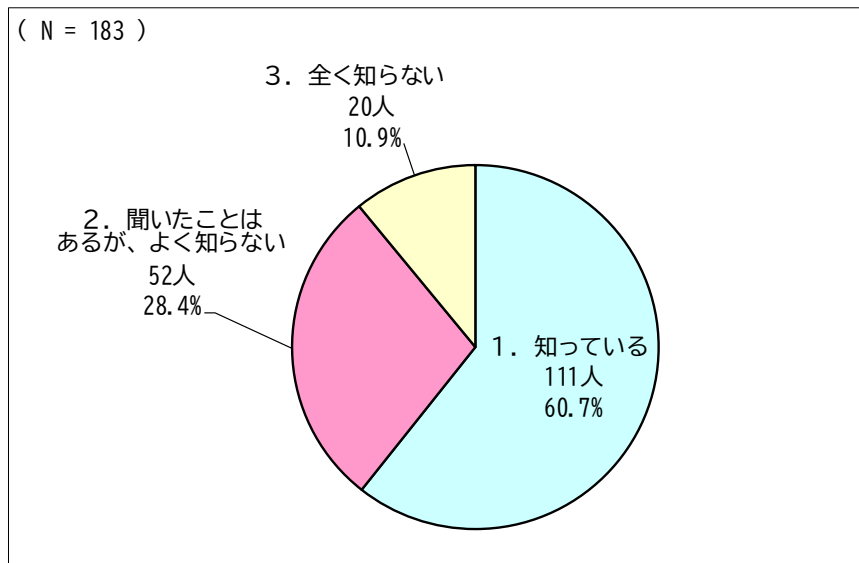
設問23：子供に体罰を与えることについて、どのように思いますか。



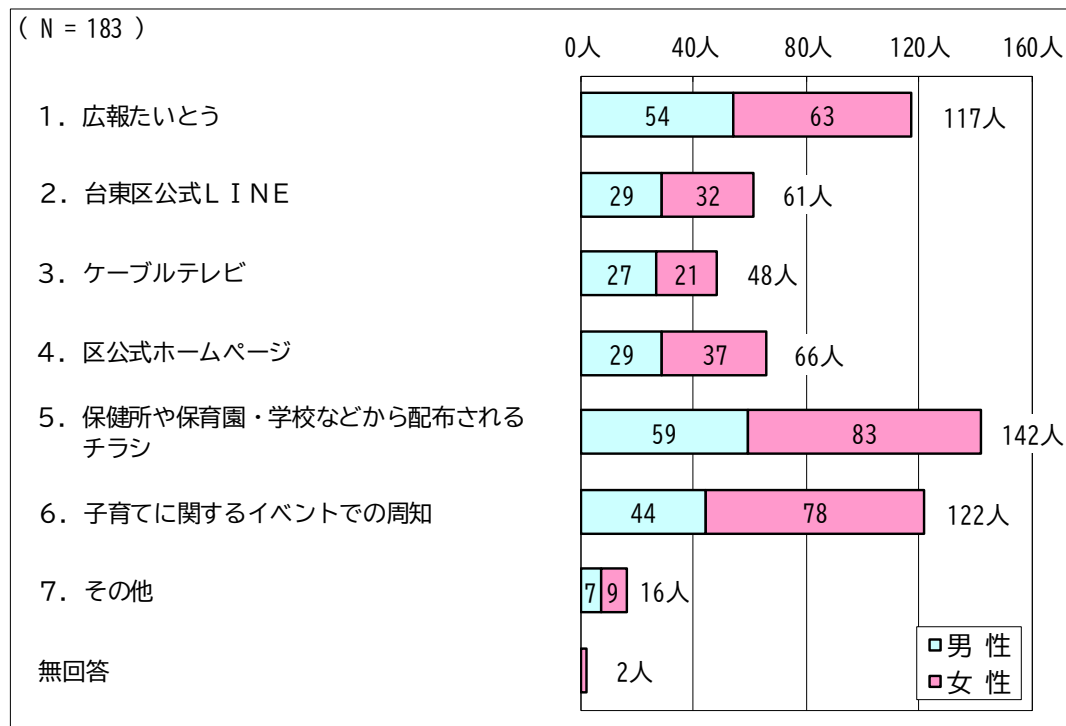
設問24：子供への体罰や言葉による暴力は、子供の脳の萎縮や変形を起こすことを知っていますか。



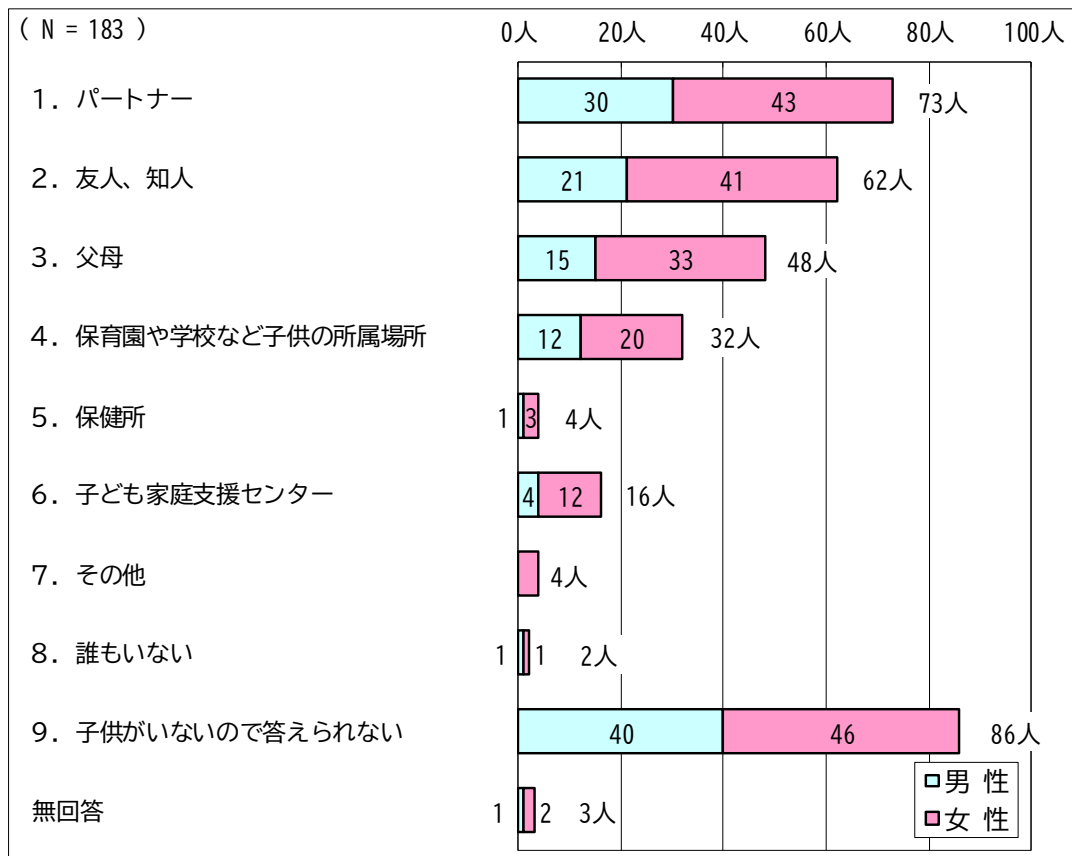
設問25：子供への体罰は、不安、感情的にキレやすくなるなど成人後も影響があることを知っていますか。



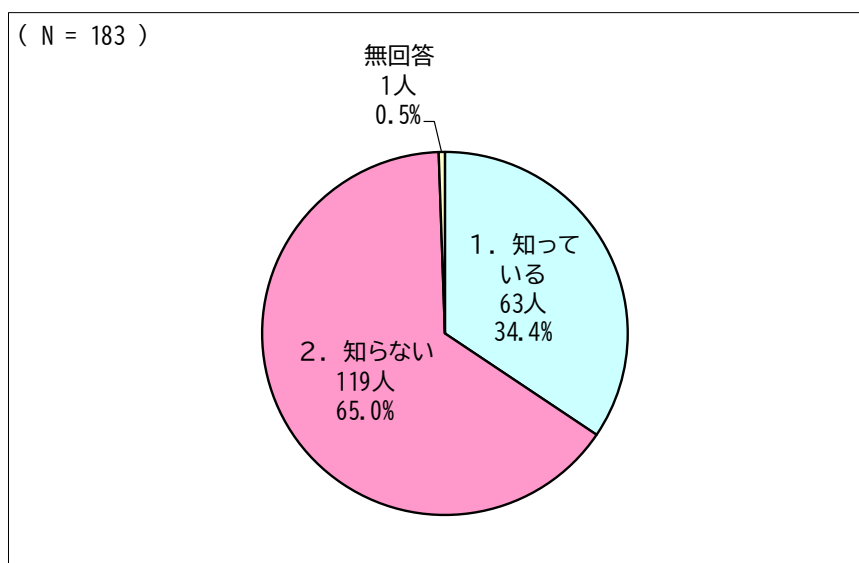
設問26：体罰によらない子育てについて、どのような周知方法が必要だと思いますか。  
(複数回答可)



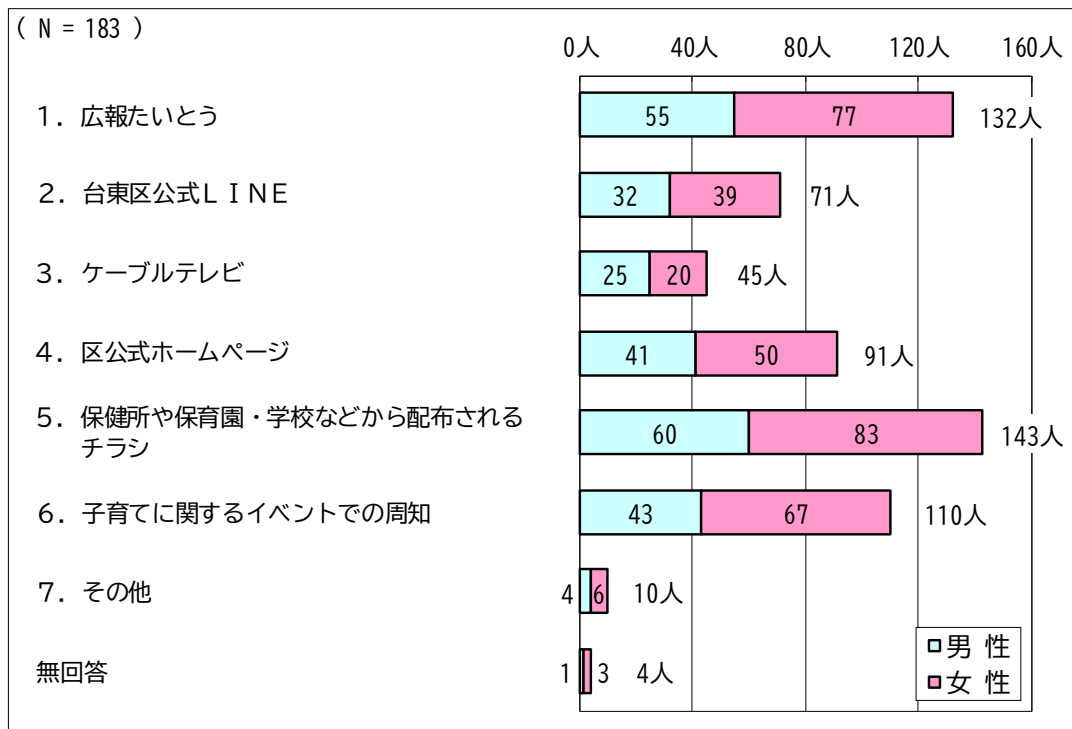
設問27：子供のしつけの悩みについて誰に相談しますか。(複数回答可)



設問28：子ども家庭支援センターに0歳～18歳未満の児童のあらゆる相談を受けることができる「子育て総合相談」があることを知っていますか。



設問29：子育て総合相談について、どのような周知方法が必要だと思いますか。  
 (複数回答可)



設問30：子育て総合相談について、ご意見等がありましたらご記入ください。

(主なご意見)

- ・子育て相談について、母子手帳受領時や出生届提出時など、あらゆる機会に宣伝すると良い。
- ・子育てに困っている事があれば、まずネットで情報収集をしようと思うので、区のホームページ等、相談窓口への誘導を分かりやすくする事は重要だと思う。
- ・子供を育てている友人が以前「孤独だ」と言っていたことを思い出す。特に幼少期は、子供と向き合うだけの時間を過ごす親も多いと想像する。情報は載せられる場所に載せられるだけ載せ、キャッチアップできる機会を増やすことが孤独を避ける第一歩になるのではないかと。
- ・子育てをする若い世代は、これからはテレビを持たないという人も更に増えていくと思う。また、困ったことがある時は、まず「子供 しつけ」などと検索しようと思う。そういった検索にヒットするような具体的な解決策をホームページに載せた上で、周知するのが良いと思う。
- ・友達から、区など公的機関の育児相談は役に立たなかったと聞いていたが、自分の子供で育児相談をしてみると、ネットで見たことがあるありふれた回答ではなく、子供に合わせた対処法を教えてくれた。具体例なQ&Aを載せてアピールした方が良いと思う。ネットにある無難な方法は誰でも簡単に手に入るもので、そうではないことが分かったと相談する価値があると思える。
- ・虐待などの深刻な案件だけでなく、その手前の子育ての悩み相談なども受けられること、母親だけでなく父親の相談も受けられることを周知してほしい。日本堤子ども家庭支援センターだけでなく、もっと多くの拠点で相談業務をやってほしい。臨床心理士などの専門家を増員してほしい。
- ・LINEなどのSNSを使い、タイムリーに相談出来るようにすれば良いと思う。また、SNSで親のコミュニティの場を提供し、相談者同士、ボランティアの活用で悩みを解決する方法もあるかと思う。
- ・相談というとハードルが高いイメージがあるので、まずはイベントなどを開催して、事業内容の周知をすることが必要かと思う。
- ・広報紙やホームページを通じて子育て世代以外にも周知してほしい。
- ・学校や子育て相談所への予算増加など、発達障害に対するサポートを手厚くしてほしい。



- ・母子手帳を渡す際に一緒に案内を配布する。病院等でも手軽に見られるように案内を置いておく等すれば良いと思う。子供がいなかったので全く知らなかった。自分の育った時の環境とは変化しているので、大変勉強になった。
- ・子育て総合相談があることを知らなかったので、子供がいなくても含めて地域住民に、皆で子供を守るという意味でも、広く周知させていってほしい。
- ・LINEやホームページでの周知方法も必要だが、紙ベースでの方法も大切だと思う。チラシ、ポスター等は誰の目にも触れ、手に取ることができる。また、紙ベースでしか情報を得ることができない人たちもいる。公共施設や駅等で配布することも大切だと思う。
- ・子供のことで人に言える悩みは友人に伝え、話を聞いてもらってすぐに忘れることができるが、子供の発達への悩みは誰に相談していいかわからないし、人に知られたくない。チラシをもらってこっそり相談したいから、チラシは有効だと思う。
- ・区内の各町会にある路上の掲示板等も利用して、ポスター等を貼ることで周知すると良いと思う。
- ・「何が子育ての悩みか」を自覚できない親もいると思うので、「こんなことも悩みになる」と教えてくれる場が必要だ。
- ・超少子高齢化時代と共働きの低賃金時代が同時並行で進んでいる現在、子育ては非常に大事な政策の一つである。誰にも相談できず抱えてしまう方も多いため、予算をかけて拡充させてほしい。
- ・体罰に無自覚な人や衝動的に出てしまう時にどう対応するのかがとても難しいと思う。保育園・幼稚園・小学校以外に親が普段の生活の関係とは別のコミュニティや利害関係のない別のコミュニティに参加できるような、世代もまちまちな相談場所が必要だと思う。
- ・子育て中の母のサークルをつくり、問題と解決法について実体験を語り合うのはどうか。区の施設を使うのも良いし、区がプラットフォームをつくらせてテレワークするなど、専門家によるカウンセリングと同時に、自分と同じ悩みを抱いた者同士が意見交換するのが現実的で切実な臨場感があり、良いと思う。
- ・魅力的なイベントは決まった人ばかりが参加して、そういうことに参加しない人が問題を抱えている気がする。子供の1歳の誕生日に招待状をもらい、初めて利用した覚えがある。1歳だけでなく、誕生日イベントなどで初参加を促す機会があると良いと思う。

## II アンケート質問と回答

### 【プラスチックごみの削減について】

**設問1:** 令和2年7月から、プラスチック製買い物袋（以下「レジ袋」）が有料化されました。レジ袋の有料化は、使い捨てプラスチックの使用を減らし、マイバッグを持参する等の環境に優しい行動や心がけを促すことを目的としており、プラスチックの製造・廃棄にかかるCO2の削減や海洋プラスチックごみの減量などにもつながります。あなたは買い物時にマイバッグを使っていますか。

1. 毎回使っている	130人	71.0%
2. 使う時もあれば、使わない時もある	49人	26.8%
3. 使っていない	4人	2.2%
全体	183人	100.0%

**設問2:** 設問1で選択肢1、2を選択した方にお伺いします。マイバッグを使う理由は何ですか。（複数回答可）

1. ごみ減量や環境に配慮しているから	101人	56.4%
2. 不要な袋が増えなくて済むから	54人	30.2%
3. おしゃれだから	4人	2.2%
4. 店のポイントがつくなどの特典があるから	8人	4.5%
5. レジ袋にお金をかけるのが嫌だから	148人	82.7%
6. その他	5人	2.8%
全体	320人	

**設問3:** 設問1で選択肢2、3を選択した方にお伺いします。マイバッグを使わない理由は何ですか。（複数回答可）

1. マイバッグを持ち歩くのが面倒だから	17人	32.1%
2. レジ袋をごみ袋などに有効活用しているから	28人	52.8%
3. 使い捨てのレジ袋のほうが衛生的だから	16人	30.2%
4. レジ袋に払う金額は少額のため、気にならないから	8人	15.1%
5. マイバッグを買う方がお金がかかるから	5人	9.4%
6. レジ袋を使っても、ごみ減量や環境への影響はほとんどないと考えるから	14人	26.4%
7. その他	9人	17.0%
無回答	2人	3.8%
全体	99人	

**設問4:** レジ袋有料化は、プラスチックの削減にどのような効果があると思いますか。

1. レジ袋を断る人が多くなり、ごみ減量や環境問題の改善につながると思う	75人	41.0%
2. ごみ減量や環境問題の改善に貢献するとは思えないが、きっかけ作りとして良いと思う	56人	30.6%
3. レジ袋を有料化してもごみ減量や環境改善につながるとは思えない	43人	23.5%
4. 分からない	4人	2.2%
5. その他	1人	0.5%
無回答	4人	2.2%
全体	183人	100.0%

**設問5:** レジ袋の有料化をきっかけに、プラスチックごみに関する意識や行動に変化はありましたか。(複数回答可)

1. 買い物でマイバッグを使うようになった	140人	76.5%
2. プラスチックごみのポイ捨てをやめた	6人	3.3%
3. 洗剤等で詰め替えのできる商品を選択するようになった	52人	28.4%
4. ペットボトル飲料を買わないようになった	15人	8.2%
5. 大江戸清掃隊など美化活動に参加し、ポイ捨てごみを拾うようになった	1人	0.5%
6. 過剰包装を断るようになった	70人	38.3%
7. 環境問題への関心が高まった	63人	34.4%
8. 特に意識や行動に変化はなかった	22人	12.0%
9. その他	3人	1.6%
全体	372人	

**設問6:** 不要になったプラスチックはごみとしてではなく、リサイクルを進めて行く必要があります。区では現在、ペットボトルや食品発泡トレイ・カップの集積所回収など、一部のプラスチック類については分別し資源化を行っています。今後は更にプラスチックの資源化を目指すため、お菓子の空き袋やシャンプーのボトル、プラスチック製の文房具・玩具類など、ほぼすべてのプラスチックごみの分別収集、資源化の実施を検討しています。あなたはプラスチックごみを分別収集、資源化することについてどう思いますか。

1. 賛成	106人	57.9%
2. どちらかといえば賛成	52人	28.4%
3. どちらかといえば反対	15人	8.2%
4. 反対	9人	4.9%
無回答	1人	0.5%
全体	183人	100.0%

**設問7:** 設問6で選択肢1、2を選択された方にお伺いします。  
プラスチックごみの分別収集、資源化に賛成の理由は何ですか。

1. 焼却による二酸化炭素（CO2）の排出を減らすことができそうだから	57人	36.1%
2. 資源の循環につながるから	81人	51.3%
3. すでに多くの自治体で実施しているから	10人	6.3%
4. 清掃工場の負荷を減らすことができそうだから	10人	6.3%
5. その他	0人	0.0%
<b>全体</b>	<b>158人</b>	<b>100.0%</b>

**設問8:** 設問6で選択肢3、4を選択された方にお伺いします。  
プラスチックごみの分別収集、資源化に反対の理由は何ですか。

1. 分別の種類が増えて面倒だから	10人	41.7%
2. 現在も清掃工場で熱回収による発電(サーマルリサイクル)ができていてから	4人	16.7%
3. 資源回収の車が増え、道路交通の妨げになるから	1人	4.2%
4. リサイクルをするのにお金がかかりそうだから	4人	16.7%
5. プラスチック収集日ができると、街中にごみが出される日が増えてしまうから	0人	0.0%
6. その他	5人	20.8%
<b>全体</b>	<b>24人</b>	<b>100.0%</b>

**設問9:** プラスチックごみを分別した場合、3人から4人のご家庭で1週間に30ℓから45ℓのごみ袋1袋程度の量になる見込みですが、どのような収集方法が良いと思いますか。

1. 戸別収集（集合住宅の保管場所を含む） （燃やすごみ・燃やさないごみの収集と同じ場所）	108人	59.0%
2. 集積所収集 （古紙、びん、缶、ペットボトル、トレイの回収と同じ場所）	70人	38.3%
3. 拠点収集(乾電池、古布、廃食油等の回収のように区の施設)	3人	1.6%
4. その他	2人	1.1%
<b>全体</b>	<b>183人</b>	<b>100.0%</b>

**設問10:** プラスチックごみの分別収集を始める際には、区でどのような対応が必要だと思いますか。（複数回答可）

1. 分別方法を分かりやすく周知する	149人	81.4%
2. 分別の手間がなるべくかからないような方法にする	134人	73.2%
3. リサイクルの効果などを区民に明らかにする	103人	56.3%
4. 収集車の走行などによる生活環境への影響をなるべく少なくする	27人	14.8%
5. プラスチック排出場所の衛生環境を保持する	38人	20.8%
6. その他	8人	4.4%
<b>全体</b>	<b>459人</b>	

**設問11:** マイバッグ持参のほかに、ごみ減量や環境に配慮した取り組みで行っていることは何ですか。（複数回答可）

1. 資源とごみを正しく分別し、ごみの減量を行っている	118人	64.5%
2. マイボトルを持ち歩いている	90人	49.2%
3. フリーマーケット（アプリ含む）を活用して不用品を売ったり、出品されているものを買ったりしている	48人	26.2%
4. 食品ロス（まだ食べられるのに捨てられてしまう食べもの）を出さないようにしている	115人	62.8%
5. 節電や公共交通の利用など、省エネルギーをこころがけている	81人	44.3%
6. その他	4人	2.2%
7. 特にない	9人	4.9%
無回答	1人	0.5%
全体	466人	

**設問12:** プラスチックごみの発生抑制や資源化について、ご意見等がありましたらご記入ください。

### 【観光振興について】

**設問13:** 台東区に多くの観光客が訪れることについて、どのように思いますか。

1. 好ましい	91人	49.7%
2. どちらかといえば好ましい	78人	42.6%
3. どちらかといえば好ましくない	10人	5.5%
4. 好ましくない	4人	2.2%
全体	183人	100.0%

**設問14:** 観光客が訪れることによるプラスの効果は、どのようなことが考えられますか。（複数回答可）

1. 飲食業や宿泊業、地場産業等が潤い、経済効果がある	170人	92.9%
2. 新しいビジネスチャンスが生まれる	79人	43.2%
3. 台東区の知名度・イメージアップにつながる	115人	62.8%
4. 歴史・文化資源の保存・継承につながる	103人	56.3%
5. ボランティアガイドなど高齢者の活躍の場が広がる	48人	26.2%
6. 街が賑やかになる	96人	52.5%
7. その他	3人	1.6%
8. 特にない	2人	1.1%
全体	616人	

**設問15:** 観光客が訪れることによるマイナスの影響は、どのようなことが考えられますか。  
(複数回答可)

1. 交通渋滞や路上駐車など交通環境が悪くなる	99人	54.1%
2. ごみが増える	140人	76.5%
3. 治安が悪くなる	103人	56.3%
4. 歴史・文化資源の保存・維持に不安がある	34人	18.6%
5. 新型コロナウイルス感染症等の感染症拡大の要因になる	122人	66.7%
6. その他	5人	2.7%
7. 特にない	5人	2.7%
無回答	1人	0.5%
<b>全体</b>	<b>509人</b>	

**設問16:** 施設・道路等のバリアフリー化の推進や公衆トイレの整備、利便性の高い交通網などの観光基盤を整備することが、区民生活の向上につながると思われますか。

1. 非常につながると思う	108人	59.0%
2. ややつながると思う	58人	31.7%
3. あまりつながると思わない	14人	7.7%
4. 全くつながると思わない	1人	0.5%
無回答	2人	1.1%
<b>全体</b>	<b>183人</b>	<b>100.0%</b>

**設問17:** 新型コロナウイルス感染症に関連する観光施策として、あなたが区に求めることは何ですか。(複数回答可)

1. 新型コロナウイルス感染症対策に取り組む事業者への消毒液等の配布	89人	48.6%
2. テイクアウト・デリバリー対応店舗に関する情報発信	62人	33.9%
3. 区公式SNSを活用した事業者支援のPRキャンペーン	60人	32.8%
4. 商談会の開催による観光事業者間の連携強化支援	42人	23.0%
5. 国や都が実施する観光事業者支援策に関する情報発信	74人	40.4%
6. その他	14人	7.7%
無回答	3人	1.6%
<b>全体</b>	<b>344人</b>	

**設問18:** あなたが旅行先を選ぶ際、重視していることは何ですか。(複数回答可)

1. 歴史・文化が感じられる	116人	63.4%
2. 食事のおいしさ	135人	73.8%
3. 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の徹底など良好な衛生環境	81人	44.3%
4. ゴミが落ちていないといった清潔さ	57人	31.1%
5. 旅行費用の安さ	81人	44.3%
6. SNS上での反応が期待できる (SNS映え)	14人	7.7%
7. 自然の豊かさ	118人	64.5%
8. 混雑・渋滞していない	85人	46.4%
9. その他	10人	5.5%
<b>全体</b>	<b>697人</b>	

**設問19:** あなたは、台東区を魅力ある観光地としてほかの人に紹介できますか。

1. 進んで紹介できる（している）	77人	42.1%
2. 紹介できる（している）	86人	47.0%
3. あまり紹介できない	16人	8.7%
4. 全く紹介できない	4人	2.2%
全体	183人	100.0%

**設問20:** 区の観光振興への取組みについて満足していますか。

1. 満足している	27人	14.8%
2. どちらかといえば満足している	111人	60.7%
3. あまり満足していない	38人	20.8%
4. 全く満足していない	5人	2.7%
無回答	2人	1.1%
全体	183人	100.0%

**設問21:** 観光振興についてご意見等がありましたらご記入ください。

## 【子育てについて】

**設問22:** 子供への体罰を禁止した改正児童福祉法及び児童虐待防止に関する法律が令和2年4月に施行されました。子育てにおける体罰が法的に禁止されていることを知っていますか。

1. 知っている	104人	56.8%
2. 聞いたことはあるが、よく知らない	64人	35.0%
3. 全く知らない	15人	8.2%
全体	183人	100.0%

**設問23:** 子供に体罰を与えることについて、どのように思いますか。

1. 体罰を与えてはいけない	116人	63.4%
2. 場合によっては必要だと思う	59人	32.2%
3. 必要だと思う	2人	1.1%
4. 分からない	5人	2.7%
無回答	1人	0.5%
全体	183人	100.0%



**設問24:** 子供への体罰や言葉による暴力は、子供の脳の萎縮や変形を起こすことを知っていますか。

1. 知っている	112人	61.2%
2. 聞いたことはあるが、よく知らない	50人	27.3%
3. 全く知らない	20人	10.9%
無回答	1人	0.5%
全体	183人	100.0%

**設問25:** 子供への体罰は、不安、感情的にキレやすくなるなど成人後も影響があることを知っていますか。

1. 知っている	111人	60.7%
2. 聞いたことはあるが、よく知らない	52人	28.4%
3. 全く知らない	20人	10.9%
全体	183人	100.0%

**設問26:** 体罰によらない子育てについて、どのような周知方法が必要だと思いますか。  
(複数回答可)

1. 広報たいとう	117人	63.9%
2. 台東区公式LINE	61人	33.3%
3. ケーブルテレビ	48人	26.2%
4. 区公式ホームページ	66人	36.1%
5. 保健所や保育園・学校などから配布されるチラシ	142人	77.6%
6. 子育てに関するイベントでの周知	122人	66.7%
7. その他	16人	8.7%
無回答	2人	1.1%
全体	574人	

**設問27:** 子供のしつけの悩みについて誰に相談しますか。(複数回答可)

1. パートナー	73人	39.9%
2. 友人、知人	62人	33.9%
3. 父母	48人	26.2%
4. 保育園や学校など子供の所属場所	32人	17.5%
5. 保健所	4人	2.2%
6. 子ども家庭支援センター	16人	8.7%
7. その他	4人	2.2%
8. 誰もいない	2人	1.1%
9. 子供がいないので答えられない	86人	47.0%
無回答	3人	1.6%
全体	330人	



**設問28:** 子ども家庭支援センターに0歳～18歳未満の児童のあらゆる相談を受けることができる「子育て総合相談」があることを知っていますか。

1. 知っている	63人	34.4%
2. 知らない	119人	65.0%
無回答	1人	0.5%
全体	183人	100.0%

**設問29:** 子育て総合相談について、どのような周知方法が必要だと思いますか。（複数回答可）

1. 広報たいとう	132人	72.1%
2. 台東区公式LINE	71人	38.8%
3. ケーブルテレビ	45人	24.6%
4. 区公式ホームページ	91人	49.7%
5. 保健所や保育園・学校などから配布されるチラシ	143人	78.1%
6. 子育てに関するイベントでの周知	110人	60.1%
7. その他	10人	5.5%
無回答	4人	2.2%
全体	606人	

**設問30:** 子育て総合相談について、ご意見等がありましたらご記入ください。

令和3年度 第2回  
台東区区政サポーターアンケート調査報告書

編集・発行 令和3年9月  
台東区総務部広報課  
令和3年度登録第29号